



# こんにちは、岡田よしひでです

2020年10月11日発行  
県議会活動報告ニュース  
NO.55

自宅 南州市浜改田 430-1  
TEL/FAX 865-2932  
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南州市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20



県議会 9月定例会 岡田芳秀総括（代表）質問（9月30日、本会議場）

## 知事の政治姿勢を問う 政治は「公助」充実を

9月定例会

県議会で9月30日に代表質問に立ち、①知事の政治姿勢、②新型コロナ感染症対策、③農業政策について質問しました。今回は知事の政治姿勢について報告します。菅首相は、安倍政権を引き継ぎ、「自助・共助・公助、そして絆」の政治を進めると表明しました。防災などで使われる言葉ですが、「自助」、つまり自己責任を求めるだけだったら政治はいりません。政治の役割は「公助」充実にあります。

私は、憲法25条を引いて国の役割について知事に所見を聞きました。

知事は、国は「すべての生活部門について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に務めなければならない」というのは論を俟たないとした上で、国の責務として、「公助」は当然重要だが、「自助」、「共助」を支援していくことも、公の役割と考えます、と答えました。

私は、先日の県民座談会「瀨田が参りました」で訴えられた奈路地区の方の声も紹介し、共に助け合う「共助」にしても、とくに中山間地域では高齢化が進んで飲み水の管理にも困難が生じてきているのが現実であり、「公助」の充実こそ政治の役割がある、そういう姿勢で行政がシツカリとりくんでいくことが大切であり求められている、と強調しました。

## 地域医療構想の拡充を

コロナ禍により急きよ医療体制の拡充が必要になったが、今後も発生しうる感染症を想定して地域医療構想の拡充を図ることが必要ではないか、今の構想で十分な対応ができるのか聞きました。

知事は、国の社会保障審議会医療部会において、新型コロナ感染症への対応を踏まえた今後の医療提供体制について、議論がはじまっており、国の議論の動向を注視しながら、要請があれば感染症対策も念頭に、内容の見直しについて検討していきたい、と答えました。

## 命を守るケアに手厚い社会に

介護、福祉、保育分野の労働者への処遇改善を図るなど、命と尊厳を守るケアに手厚い社会をつくるのが大切であると、知事に所見を伺いました。

知事は、これまで国において、介護報酬等の加算が充実されるなど支援策が講じられ、給与も一定増加している、県としても、業務の効率化や負担軽減などに取り組んできた、介護・福祉職員や保育士等は、利用者やそのご家族の生活を支えるうえで、無くてはならない存在であり、その役割を正しく評価し、処遇に反映することが必要と考えている、今後も、現場の状況も聞きながら、さらなる処遇改善について、国に提言してまいります、と答えました。引き続き改善を求めましょう。

## おむすび通信 (55)

秋めいてきました。過ごしやすいい季節ですが、政治が過ごしくしくしています。菅首相が日本学術会議の推薦した会員候補6人の任命を拒否しました。いよいよ憲法が保障する「学問の自由」も統制か。同会議が軍事研究に協力しないことへの圧力のようなようです。

